

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.41 千葉船橋支部
(とらの子会)

● あゆみ

とらの子会は、昭和61年に発足、とら年生まれの子どもの保護者が立ち上げたと聞いています。かれこれ30年という歴史をもつ会です。船橋市公認の福祉団体となり、JDSの支部として広い船橋市の中で活動しております。ここ2～3年で近隣の市の方の入会希望が目立つようになり、各市のリーダーを選出し、地域の情報交換もできるようにと考えています。

● 活動

船橋市内の公民館を拠点に、年に10回の予定で定例会、もしくは、クリスマス会、夏祭りなどのイベントを行っています。定例会は、講話や会員同士の情報交換を主に行っております。

年齢層は、就学前が会員の60%、赤ちゃんも多く、育児を中心に子育ての応援とさまざまな悩みや不安を持つママ達と向き合いながら活動しています。そしてこの頃は、成人ダウン症者の質問・相談など成年後見人を含め、問い合わせが増えてきています。

そして、35%の会員が市外の方で、船橋近隣の市からも情報を求めて集まってくれています。

船橋市からの助成金を受け、活動内容も充実してきました。赤ちゃん体操を2ヶ月に1度のペースで定期的に行い、都内の大きな病院まで行かなくても、定例会の中で参加しながら施術を受け、子どもの成長の様子も見てくださり、心配事なども聞いてくださるとてもステキな先生に来ていただいています。勉強会では、講師の先生に会場いただき、動作法、言語、摂食指導、成年後見人などについての講義を行っております。聞いた話の中で自分の子どもに合う療育を見つけ、生活の中で、または施設や園、学校などで生かしていけたらと思っております。

イベントは、年数回。夏祭りでは、子どもたちの甚平・浴衣姿がとてもかわいいです。クリスマス会では、B・B・モフランさん（アフリカのミュージシャン）をお招きし、演奏のリズムや歌で盛り上がり、クリスマスプレゼントのお菓子を用意して、親子で楽しんでもらっています。

● 支部長より 会を引き継ぎ、8年目になります。会員数が13名のころで、活動をやめようか、という役員会での話し合いで、それなら私が引き受けようと決心しました。そのころ自分の子どもはまだ小学生になったばかりで、ダウン症のこともよくわからないままに始まりました。会員同士、支え合い、不安な気持ちを打ち明け、楽しい時も共有して安心と変わるような会にしようと考えました。そうこうしているうちにJDSの千葉県の相談員をやらせていただき、研修にも参加して、個人的にも成長させていただきました。

- ◆ 設立年度：1986年（昭和61年）
- ◆ 支部長：吉武 聖子
- ◆ 会員数：64 家族（JDS 会員 57 人
賛助会員 3 人）
- ◆ ご本人の年齢：0～28 才
- ◆ 対象地域：千葉県船橋市
及び 八千代市、習志野市、市川市
松戸市など
- ◆ 連絡先：funabashidown@gmail.com



今年8月の定例会にて。18組の家族が参加しました。